

南渡島地域リハビリテーション推進会議

【目標】

『たとえ障がいがあっても、住み慣れた場所でいつまでも生き活きと暮らせる南渡島をみんなで作ること』

【活動内容】

- ・ 総会/理事会：6/30 開催
- ・ 運営委員会：7/30、9/24、12/7、2/9 計4回開催
- ・ 研修会：

月日	テーマ	講師	形態・備考
10/2	地域リハビリテーションの立場から口腔ケアを考える	光銭歯科医院 光銭裕二先生	主催
3/12	道南の脳卒中地域連携活動	・ 道南脳卒中地域連携協議会 ・ 道南回復期リハビリテーション連絡協議会 ・ 南渡島地域リハ推進会議	後援 他に演題発表8～10題 道南PT/OT/ST 合同研究会主催

・ エリアワーキングチーム活動

- 七飯北斗：2/18 第2回PR大会開催予定 西部：7/12、11/11 出前講師（移乗方法・認知予防）
- 鹿部森：なし 函館：なし

【来年度の活動案】

- ・ メールニュースの配信：会員施設に情報発信
- ・ 会員施設勧誘：病院・老健、職能団体、福祉機器業者等を開拓、自治体会員は役割を明確化。
- ・ 研修会：2～3回（主催・共催・後援）
- ・ ネットワーク構築推進：多施設（多職種）事例検討会開催
- ・ 出張講師：随時

【まとめ・課題】

- ・ 研修会を2回開
- ・ エリアワーキングチームの活動に温度差があり不十分だったエリアもあった。
- ・ 目標がボンヤリしているため、具体的に何をすればよいのかハッキリしない。
- ・ そのため運営委員の役割が曖昧で研修会を形骸的に開催している印象がある。
- ・ 地域住民、所属会員のニーズを再発掘することからやり直すべきか。
- ・ 脆弱な組織が、大きな地域の変革を追求するのは無理があるのか。まずは組織力強化が先決と考える。
- ・ そのためには、現在の組織の強み・弱みを明確にすることが課題。